

I-7.国際共同学位プログラムに関する調査研究

Study on international joint degree programs at universities in Japan

 キーワード Key Word	ジョイント・ディグリー、ダブル・ディグリー、高等教育の国際化、国際研究協力 <hr/> joint degrees, double degrees, internationalization, higher education, international research collaboration
---	--

1. 調査の目的

ジョイント・ディグリー・プログラム(以下「JD プログラム」という)とは、連携する海外の大学との間で開設された共同プログラムを修了した際に、複数の大学が共同で単一の学位を授与するものである。ジョイント・ディグリー制度は、2014年11月14日付けの大学設置基準等の省令改正により導入された。それまでは、複数の連携する大学間で開設された同じ学位レベルの共同プログラムを修了した際に、各大学がそれぞれ学位を授与するダブル・ディグリー・プログラムがあったが、この制度により単一の学位の授与が可能となった。

本調査研究では、制度創設後5年が経過しようとするJDプログラムを、ダブル・ディグリー・プログラムとも比較しつつ、これまでの各大学の取組みの成果及び課題等について調査し、先行研究を踏まえつつ分析・整理を行った。今後、より多くの大学において国際共同学位プログラムの活用がなされるに当たり参考となる方策を提示することを試みた。

2. 調査の内容

以下の1)～3)に従い、国際共同学位プログラムに関する調査・分析を行った。調査対象とするJDプログラムは、国内で2019年4月時点で設置されているJDプログラム20件(9大学)とした。海外の連携先大学は5大学(3か国)についてヒアリングを実施した。

- 1) 本調査に必要な知見及び先行研究の整理(予備調査)
- 2) 予備調査を踏まえた各大学における国際共同学位プログラム実施状況に関するヒアリング
 - ① 国内のJDプログラム設置大学に対するヒアリング(現地でのヒアリング)
 - ② JDプログラムを設置する海外の連携先大学に対するヒアリング(Skype、電話によるヒアリング)
- 3) 1)、2)を踏まえた日本の大学がより良い形でJDを活用していくための具体的方策に関する検討

本調査は、令和元年度の文部科学省委託調査「令和元年度先導的の大学改革推進委託事業：国際共同学位プログラムに関する調査研究」として実施したものである。報告書は、<https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/index.htm>においてダウンロード可能となる見込みである。(令和2年6月22日確認)(文責:依田)